



I 計画概要

文京区と国立大学法人お茶の水女子大学は、平成28年4月1日(予定)に認可保育所に幼稚園機能を備えた区立の保育所型認定こども園を大学の敷地内に開設します。

本事業は、子育て支援の推進に向けて、区と大学が積極的に協働し、区民への質の高い保育サービス・幼児教育の提供により保育所待機児童の解消を図るとともに、大学における教育研究活動の実践と成果の社会還元を通じた文京区全体の保育サービス・幼児教育の質の向上を目的に実施するものです。

開設にあたっては、区と大学との間で子育て支援の推進に関する協定書を締結した上で、施設の建設等、必要な準備を進めていくものとします。

なお、当該認定こども園の運営については、区が大学に業務全般を委託して実施します。

II お茶の水女子大学における教育研究活動としての取組み

お茶の水女子大学は、平成27年に創立140周年を迎えます。本学は、明治9年創設の日本で最も古い幼稚園を有し、わが国における幼児教育・保育に関する教育研究拠点として、研究資源を集積するとともに人材育成に尽力してまいりました。

認定こども園は、就学前の子どもたちに教育と保育を一体的に提供し、また地域の子育て支援を行うことを目指した新しい施設です。すぐれた認定こども園を作ることは、将来の社会を担う次世代の育成という観点から、非常に意義のあることであり、同時に女性が輝く社会を謳う政府の日本再興戦略にも沿ったものです。幼児教育・保育に関する教育研究拠点であり、かつグローバル女性リーダーの育成をミッションとするお茶の水女子大学は、社会から課された責務として、この度、文京区と連携して認定こども園の運営に着手することにいたしました。

お茶の水女子大学にとって、認定こども園は、幼児教育・保育に関する教育研究の場です。私たちは、新たに、誕生から死までの生涯発達を見据えた0歳児からの教育カリキュラムを開発するなど実践研究を行うとともに、望ましい教育環境を探求し、その研究成果を発信してまいります。将来的には、幼児教育と保育に関わる教職員や行政担当者、子育て支援に関心を有する方々のネットワーク拠点として、幼児教育政策の立案に貢献できることを目指しています。

III 文京区における待機児童の状況について

文京区では、喫緊の課題である保育所待機児童の解消を図るため、私立認可保育所の整備を中心に平成22年度からの5年間で1,000人を上回る保育サービス量の拡充を行ってきたところです。

しかしながら、未就学児童人口のさらなる増加や保育所申込率の上昇に伴い、新たな保育ニーズが生じる状況となっており、平成26年4月現在で保育所待機児童数は104人となり、特に0歳、1歳の待機児童が急増しています。

こうした状況の中、区では、待機児童解消の緊急対策として、国立大学法人お茶の水女子大学と協働して、大学の敷地を活用することにより、保育所型認定こども園の整備を進めることとしました。

IV スケジュールについて ※基本協定締結以降は予定

時期	内容
平成26年9月29日	基本協定締結(区長と学長による合同記者会見)
平成26年10月以降	設計準備
平成27年4月以降	設計・建設工事
平成27年11月	園児募集
平成28年4月	開園

V 施設概要(予定)

■施設名: お茶の水女子大学認定こども園(仮称)

■所在地: 文京区大塚二丁目1番1号(大学南門付近)

■敷地面積: 約450㎡

■定員計画:

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
保育園(60名)	6	10	11	11	11	11	60
幼稚園(33名)	—	—	—	11	11	11	33
合計	6	10	11	22	22	22	93

※イメージ図

